



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月11日

上場会社名 株式会社ランディックス 上場取引所 東
 コード番号 2981 URL <https://landix.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 和也
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 松村 隆平 (TEL) 03-6420-3432
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	7,579	46.8	1,135	12.9	1,097	11.2	717	11.1
2022年3月期第2四半期	5,162	54.0	1,006	526.0	986	584.9	645	575.6

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 717百万円(11.1%) 2022年3月期第2四半期 645百万円(575.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	253.67	251.90
2022年3月期第2四半期	228.39	226.66

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	13,305	6,209	46.7
2022年3月期	12,768	5,648	44.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 6,209百万円 2022年3月期 5,648百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	55.00	55.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	65.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	34.8	1,550	5.3	1,500	5.7	970	3.5	343.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料)8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	2,827,793株	2022年3月期	2,827,793株
2023年3月期2Q	106株	2022年3月期	106株
2023年3月期2Q	2,827,687株	2022年3月期2Q	2,825,821株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化しておりますが、行動制限の緩和等により社会経済活動が徐々に正常化に向かう動きがみられております。一方で、米国を始めとした世界的な利上げが金融市場に与える影響、円安等に起因する企業物価指数の上昇、原材料価格の上昇、供給面での制約による下振れリスクなどから、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する不動産住宅市場におきましては、継続する政策支援や低金利環境を背景に、不動産需要は底堅く、堅調に推移しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響によるワークスタイルや消費行動の変化等についての見極めも含めて今後の新規物件の取得にあたっては、取得価格と収益性のバランスを慎重に検討することが必要となってきました。

当社グループでは「唯一無二の豊かさを創造する」の経営理念のもと、積極的な若手人材採用と育成により、新規顧客アプローチの数と質を向上させ、一方で既存顧客に対しては長期的なサポート及び丁寧な提案を行うことで、用地仕入から販売まで住宅用地については平均4.0ヶ月での短期間成約を維持継続しております。当第2四半期連結累計期間は通期業績目標に対して良好な利益水準を確保しており、利益額は対前期比で増加となっております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は7,579,455千円（前年同期比46.8%増）、営業利益は1,135,539千円（前年同期比12.9%増）、経常利益は1,097,023千円（前年同期比11.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は717,289千円（前年同期比11.1%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①sumuzu事業

sumuzu事業においては、インサイドセールス部門の人員強化による積極的な提案営業活動の効果と高額物件の順調な売れ行きから業績は堅調に推移しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は7,526,248千円（前年同期比46.5%増）、セグメント利益は1,258,200千円（前年同期比13.3%増）となりました。

②賃貸事業

賃貸事業においては、前期末での賃貸用不動産の取得や所有するリゾート賃貸物件の稼働率の上昇もあり、安定した賃料収入により堅調に推移しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は52,795千円（前年同期比102.6%増）、セグメント利益は25,951千円（前年同期比132.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ、537,007千円増加の13,305,818千円となりました。流動資産は、前連結会計年度末に比べ、558,850千円増加の10,329,688千円となりました。これは主に現金及び預金が586,662千円増加したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ、21,843千円減少の2,976,129千円となりました。これは主に有形固定資産が8,894千円減少し、敷金等の減少により投資その他の資産が12,880千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ、24,759千円減少の7,095,836千円となりました。流動負債は、前連結会計年度末に比べ、41,381千円減少の5,268,750千円となりました。これは主に販売用不動産仕入に伴う短期借入金が発売による返済で404,310千円減少した一方で、1年以内返済予定長期借入金が342,109千円増加したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ、16,622千円増加の1,827,085千円となりました。これは主に長期借入金が15,027千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、561,766千円増加の6,209,981千円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が717,289千円増加した一方で、利益配当金の支出により利益剰余金が155,522千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

我が国におきましては、新型コロナウイルス感染症の社会経済活動に与える影響が和らぐ一方で、世界的な利上げ、円安や資源価格高騰による物価上昇リスク等もあり、引き続き注視が必要な状況です。

このような事業環境のもと、当社グループにおいては自社仕入の強化を進め、既存顧客また新規顧客へのアプローチの数と質を向上させ、魅力的な不動産物件を購入いただく等のクロスセル販売などを通じて不動産販売事業の拡大を目指してまいります。これまでのところ、堅調に計画どおり業績が進捗していることから、2022年5月12日公表の連結業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,505,747	5,092,409
棚卸資産	5,030,423	4,912,717
その他	234,666	324,561
流動資産合計	9,770,837	10,329,688
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	962,874	967,352
減価償却累計額	△119,017	△135,309
建物及び構築物（純額）	843,856	832,042
車両運搬具	28,380	28,380
減価償却累計額	△26,654	△26,942
車両運搬具（純額）	1,725	1,437
工具、器具及び備品	46,877	48,230
減価償却累計額	△17,152	△21,040
工具、器具及び備品（純額）	29,725	27,190
土地	1,909,254	1,909,254
建設仮勘定	—	5,742
有形固定資産合計	2,784,561	2,775,666
無形固定資産		
商標権	1,510	1,470
ソフトウェア	124	95
無形固定資産合計	1,634	1,566
投資その他の資産	211,776	198,896
固定資産合計	2,997,973	2,976,129
資産合計	12,768,811	13,305,818

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	4,005,000	3,600,690
1年内返済予定の長期借入金	268,382	610,491
未払法人税等	453,152	380,172
賞与引当金	22,412	20,913
その他	561,186	656,483
流動負債合計	5,310,132	5,268,750
固定負債		
長期借入金	1,773,454	1,788,481
その他	37,008	38,604
固定負債合計	1,810,463	1,827,085
負債合計	7,120,595	7,095,836
純資産の部		
株主資本		
資本金	488,554	488,554
資本剰余金	701,422	701,422
利益剰余金	4,458,542	5,020,308
自己株式	△304	△304
株主資本合計	5,648,215	6,209,981
純資産合計	5,648,215	6,209,981
負債純資産合計	12,768,811	13,305,818

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	5,162,606	7,579,455
売上原価	3,515,488	5,685,861
売上総利益	1,647,118	1,893,594
販売費及び一般管理費	641,091	758,054
営業利益	1,006,026	1,135,539
営業外収益		
為替差益	40	742
不動産賃貸料	156	302
その他	87	295
営業外収益合計	284	1,341
営業外費用		
支払利息	19,309	32,402
その他	765	7,454
営業外費用合計	20,074	39,856
経常利益	986,236	1,097,023
特別利益		
保険解約返戻金	6,789	7,427
特別利益合計	6,789	7,427
税金等調整前四半期純利益	993,025	1,104,450
法人税等	347,639	387,161
四半期純利益	645,385	717,289
親会社株主に帰属する四半期純利益	645,385	717,289

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	645,385	717,289
四半期包括利益	645,385	717,289
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	645,385	717,289
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	sumuzu	賃貸	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,135,956	26,056	5,162,013	593	5,162,606	—	5,162,606
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	5,135,956	26,056	5,162,013	593	5,162,606	—	5,162,606
セグメント利益	1,110,583	11,181	1,121,765	593	1,122,358	△116,331	1,006,026

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸物件管理事業及び保険代理店事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去1,090千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△117,422千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 当第2四半期連結累計期間において、保有目的の変更により、賃貸事業に含まれていた資産のうち、有形固定資産の一部(建物12,703千円、土地198,995千円)をsumuzu事業の資産である棚卸資産(販売用不動産)に振替えております。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	sumuzu	賃貸	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,526,248	52,795	7,579,043	411	7,579,455	—	7,579,455
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	7,526,248	52,795	7,579,043	411	7,579,455	—	7,579,455
セグメント利益	1,258,200	25,951	1,284,151	411	1,284,563	△149,023	1,135,539

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸物件管理事業及び保険代理店事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去1,090千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△150,114千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。